

LGBTQ+の基礎知識

参加費 無料
当日参加可

対象 宮崎県内の看護師、その他医療関係者、看護学生、医療事務や当事者の方々

「だれ一人取り残さない医療の実践」

令和5年にLGBTQ+の方から「医療関係者に私たちのことを知って欲しいのですが、思いを届けることが難しいです。」という悲痛な声が主催者へ寄せられました。それをきっかけに当事者の声を医療関係者へ届けるための地域貢献事業が宮崎県立看護大学で発足しました。令和6年12月に宮崎県の看護部門責任者へアンケート調査を行うと、当事者の困りごとについて「ほとんど気が付いていない可能性が高い」ということがわかりました。私たちの性は、戸籍で割り当てられた性、自認する性、好きになる性、表現する性など様々です。まずはこの機会に是非LGBTQ+の基礎知識から、そして当事者の方々の声にならなかった声に少し耳を傾けてみませんか。宮崎県の「だれ一人取り残さない医療の実践」を目指して。

申込はこちらから



申込期限
講演開催日の
7日前まで

令和7年

9月6日 土 午後2時～午後3時半
延岡市社会教育センター3階 研修室4

9月12日 金 午後6時～午後7時半
宮崎県立日南病院2階 講堂

9月13日 土 午後2時～午後3時半
宮崎県立看護大学 教育研究棟1階 中講義室4

お問合せ先 事業担当 事業代表者 教授 久野暢子 0985-59-7739 nhisano@mpu.ac.jp
宮崎県立看護大学 看護研究・研修センター 0985-59-7833 center@mpu.ac.jp

講師：武田裕子氏 順天堂大学大学院医学研究科・教授

筑波大学医学専門学群卒業。米国にてプライマリ・ケア研修を行い米国内科専門医資格取得。帰国後、筑波大学・琉球大学・東京大学・三重大学で地域医療教育及び国際協力に従事。ロンドン大学(2010-13)・ハーバード大学(2013-14) 研究員を経て2014年より現職。健康格差をテーマに医療者教育に従事。SOGI(性的指向・性自認)によらず安心して医療を受けられる病院を目指す順天堂医院で、「SOGI相談窓口」を担当している。日本医学教育学会理事、日本プライマリ・ケア連合学会理事。編著書に『LGBTQ+医療現場での実践Q&A』(日本看護協会出版会)、『医療現場の外国人対応「やさしい日本語」』(南山堂)ほか。

【主催】 宮崎県立看護大学 地域貢献等研究推進事業「看護師に向けた性的マイノリティへの受療行動支援事業」

【後援】 宮崎県／宮崎県教育委員会／宮崎市／公益社団法人宮崎県医師会／公益社団法人宮崎県看護協会

参加申込書

FAX:0985-59-7878

看護研究・研修センター事務局 お問い合わせ TEL 0985-59-7833

貴施設名	
参加者氏名 (複数可)	
連絡先 (代表者) <small>※講演中止などの場合に使用します</small>	電話
	E-mail
参加日時 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 9月6日 (土) 午後2時～午後3時半 延岡市社会教育センター 3階 研修室4 <input type="checkbox"/> 9月12日 (金) 午後6時～午後7時半 宮崎県立日南病院 2階 講堂 <input type="checkbox"/> 9月13日 (土) 午後2時～午後3時半 宮崎県立看護大学 教育研究棟 1階 中講義室4

【アンケートにご協力ください】 ※本アンケート結果は今回の講演内容に反映させる目的で活用します。

■ 年代(該当するものにチェック)

19歳以下 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上

■ 職種(該当するものすべてにチェック)

看護師 准看護師 看護教員 看護学生 医師 その他()

■ 講演会に参加するきっかけ(該当するものすべてにチェック)

講演会のテーマに関心があったため 勤務先からの参加推奨・依頼があったため
 同僚や関係者に紹介されたため 過去に同様の講演に参加して学びが大きかったため
 宮崎県立看護大学の地域貢献事業に関心があるため その他()

■ 性的マイノリティである当事者と接したことがありますか(該当するものにチェック)

ある ない わからない

■ ご自身の周囲に性的マイノリティの当事者がいますか(該当するものにチェック)

いる いない わからない

■ 講師へのご質問(聞いてみたいこと)がございましたら、ご自由にご記入ください。

--

※この申込で得た個人情報は、本講演における参加申込の把握以外には使用いたしません。